



平成26年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアシーク

コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

四半期報告書提出予定日 平成26年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第3四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第3四半期	1,132	16.4	△15	—	3	—	△51	—
25年7月期第3四半期	973	△9.8	△108	—	△42	—	△69	—

(注) 包括利益 26年7月期第3四半期 23百万円 (△55.5%) 25年7月期第3四半期 51百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第3四半期	△5.32	—
25年7月期第3四半期	△7.13	—

(注) 当社は、平成26年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年7月期第3四半期	2,114	1,649	74.5	161.74
25年7月期	1,976	1,608	78.9	160.72

(参考) 自己資本 26年7月期第3四半期 1,575百万円 25年7月期 1,558百万円

(注) 当社は、平成26年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年7月期	—	0.00	—	—	—
26年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,553	12.8	1	—	21	△21.8	5	87.7	0.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成26年7月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該分割を考慮して額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年7月期3Q	9,766,800 株	25年7月期	9,721,500 株
② 期末自己株式数	26年7月期3Q	23,300 株	25年7月期	23,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年7月期3Q	9,731,081 株	25年7月期3Q	9,698,200 株

(注) 当社は、平成26年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全般に景気回復に向けた変化が見られる一方で、実体経済への中長期的影響について先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、法人事業において、主に既存クライアントに対するシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。コンシューマー事業においては、「贅沢なオルゴール」、「スーパーボディ」等、既存のコンテンツ配信サービスによる売上を計上したほか、各種モバイル機器向けにバーコードリーダーのライセンス販売を行いました。また、スマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコニット」は、平成26年3月に累計1,000万ダウンロードを達成し、急速にユーザーを拡大しております。その結果、主に法人事業において、システムコンサルティング業務の受注が拡大し売上高及びセグメント利益が前年同期に比べ拡大したことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,132,235千円(前年同期比16.4%増)、営業損失は、15,692千円(前年同期は、108,446千円の営業損失)、経常利益は、3,355千円(前年同期は、42,767千円の経常損失)、四半期純損失は、51,814千円(前年同期は、69,185千円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

(法人事業)

法人事業においては、主に既存クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。システムコンサルティング業務に対する需要が拡大し、受注が比較的安定的に拡大したことから、その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益が前年同期に比べ拡大し、売上高は、855,429千円(前年同期比36.8%増)、セグメント利益は、199,835千円(前年同期比59.4%増)となりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業においては、スマートフォン販売が引き続き拡大し、国内市場において従来型の携帯電話からスマートフォンへの移行が進みつつあります。当社グループにおいては、既存コンテンツ配信サービスによる売上を計上したほか、各種モバイル機器向けにバーコードリーダーのライセンス販売を行いました。また、スマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコニット」は、平成26年3月に累計1,000万ダウンロードを達成しました。その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、276,805千円(前年同期比20.4%減)、セグメント利益は、2,879千円(前年同期は、15,733千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,114,719千円(前連結会計年度末から138,220千円の増加)となりました。

このうち、流動資産は、1,341,691千円(前連結会計年度末から197,356千円の増加)となりました。これは、主として現金及び預金が55,928千円増加したこと、売掛金が29,557千円増加したこと並びに投資有価証券の売却額を原資とした新規取得により有価証券が102,351千円増加したことによるものです。

固定資産は、773,027千円(前連結会計年度末から59,135千円の減少)となりました。これは、主として投資有価証券が時価の上昇と売却により差引55,591千円減少したことによるものです。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、464,951千円(前連結会計年度末から97,263千円の増加)となりました。

このうち、流動負債は、302,440千円(前連結会計年度末から89,630千円の増加)となりました。これは、主として短期借入金が25,000千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が30,192千円増加したこと及び未払法人税等が14,340千円増加したことによるものです。

固定負債は、162,510千円(前連結会計年度末から7,632千円の増加)となりました。これは、主として長期借入金が9,378千円増加したことによるものです。

なお、借入金の増加は、主として子会社において大型の受注案件の増加に伴い、運転資金が必要になったことによるものです。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,649,767千円(前連結会計年度末から40,957千円の増加)となりました。これは、主として四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が51,814千円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が51,171千円増加したこと及び少数株主持分が23,700千円増加したことによるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月期の連結業績予想については、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成25年9月6日に公表しました業績予想の数値に、変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	752,808	808,737
売掛金	362,548	392,105
有価証券	—	102,351
商品	151	151
仕掛品	2,028	781
その他のたな卸資産	4,218	945
その他	28,466	37,748
貸倒引当金	△5,885	△1,128
流動資産合計	1,144,335	1,341,691
固定資産		
有形固定資産	39,167	38,491
無形固定資産		
のれん	1,949	261
その他	6,227	6,396
無形固定資産合計	8,176	6,657
投資その他の資産		
投資有価証券	646,304	590,713
その他	165,164	168,570
貸倒引当金	△26,650	△31,405
投資その他の資産合計	784,818	727,877
固定資産合計	832,162	773,027
資産合計	1,976,498	2,114,719
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,865	23,840
短期借入金	10,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	74,208	104,400
未払法人税等	10,818	25,158
賞与引当金	4,504	5,884
資産除去債務	—	1,482
その他	87,413	106,674
流動負債合計	212,810	302,440
固定負債		
長期借入金	133,204	142,582
資産除去債務	19,414	18,135
その他	2,259	1,793
固定負債合計	154,878	162,510
負債合計	367,688	464,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,962	823,267
資本剰余金	948,203	956,507
利益剰余金	△75,208	△127,022
自己株式	△39,678	△39,678
株主資本合計	1,648,278	1,613,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△85,405	△34,233
為替換算調整勘定	△4,192	△2,903
その他の包括利益累計額合計	△89,597	△37,136
少数株主持分	50,128	73,829
純資産合計	1,608,809	1,649,767
負債純資産合計	1,976,498	2,114,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)
売上高	973,026	1,132,235
売上原価	599,994	765,220
売上総利益	373,032	367,014
販売費及び一般管理費	481,478	382,706
営業損失(△)	△108,446	△15,692
営業外収益		
受取利息	4,413	4,201
受取配当金	8,254	2,371
投資有価証券売却益	14,630	3,382
複合金融商品評価益	26,280	8,439
その他	15,009	4,887
営業外収益合計	68,587	23,282
営業外費用		
支払利息	2,523	3,181
その他	386	1,052
営業外費用合計	2,909	4,234
経常利益又は経常損失(△)	△42,767	3,355
特別利益		
固定資産売却益	—	5
負ののれん発生益	130	—
特別利益合計	130	5
特別損失		
固定資産除却損	37	3
関係会社株式売却損	—	677
持分変動損失	—	1,327
特別損失合計	37	2,007
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,674	1,353
法人税、住民税及び事業税	14,755	30,263
法人税等調整額	3,030	△280
過年度法人税等	142	—
法人税等合計	17,928	29,982
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,603	△28,628
少数株主利益	8,582	23,185
四半期純損失(△)	△69,185	△51,814

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,603	△28,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108,881	51,171
為替換算調整勘定	3,425	477
その他の包括利益合計	112,307	51,648
四半期包括利益	51,704	23,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,667	646
少数株主に係る四半期包括利益	9,036	22,373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年8月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	法人事業	コンシューマ ー事業			
売上高					
(1)外部顧客への売上高	625,466	347,560	973,026	—	973,026
(2)セグメント間の内部売 上高又は振替高	41,637	—	41,637	△41,637	—
計	667,103	347,560	1,014,664	△41,637	973,026
セグメント利益又は損失(△)	125,392	△15,733	109,659	△218,105	△108,446

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年8月1日 至 平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	法人事業	コンシューマ ー事業			
売上高					
(1)外部顧客への売上高	855,429	276,805	1,132,235	—	1,132,235
(2)セグメント間の内部売 上高又は振替高	31,100	—	31,100	△31,100	—
計	886,529	276,805	1,163,335	△31,100	1,132,235
セグメント利益又は損失(△)	199,835	2,879	202,715	△218,407	△15,692

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。